



第17回 城里町ふれあいの船代替事業 in 群馬県みなかみ町

①、⑥創作活動 ②、⑩ラフティング体験 ③、⑧たくみの里での体験活動 ④、⑦みなかみ水紀行館 ⑤水上館 ⑨土合駅を見学

7月28日(木)から30日(土)まで、町内の小学校6年生107名(10班編成)が参加して、城里町ふれあいの船代替事業を実施しました。

「城里町ふれあいの船代替事業」とは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった、北海道でのふれあいの船事業の代替事業です。この事業は、群馬県みなかみ町の雄大な自然の中での集団活動を通して、児童相互の理解や親睦を図り、通常の学校生活では得ることのできない貴重な体験をすることによって、心身ともに調和のとれた人間形成の一助とすることを目的としたものです。

《 行程表 》

1日目

8:30 出発式(常北公民館)
12:40 群馬県到着
谷川岳ドライブインで昼食
13:40 土合駅(モグラ駅)を見学
15:00 みなかみ水紀行館
16:00 宿泊地到着(水上館)

2日目

8:30 宿泊地出発
9:30 ラフティング体験
創作活動(グラスコップ絵付け)
12:00 月夜野びーどろパークで昼食
13:30 たくみの里で体験活動
17:00 宿泊地到着(水上館)

3日目

7:20 解散式・感想文作成
10:00 宿泊地出発
11:00 原田農園で昼食、お土産購入
12:30 群馬県出発
15:30 到着(常北中学校)

《 実り多い3日間 》

出発式では、根本佳幸さん(七会小学校)が参加者を代表してあいさつし、家族に見送られながら元気に出発しました。

群馬県みなかみ町到着後は、雷雨の影響で谷川岳ロープウェイは乗車できませんでしたが、462段もの階段がある土合駅(モグラ駅)や、みなかみ水紀行館で利根川に生息する淡水魚を見学することができました。2日目にはラフティング体験やたくみの里での体験活動を行い、群馬県の雄大な自然や文化を満喫しました。

また、班別行動の際は高校生リーダーを中心に計画を立て、限られた時間を有効に使う各所を巡りました。

《 3日間の研修を終えて 》

この事業を通して、知らない児童同士が互いにふれあい、集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができました。また、各班のリーダーである高校生の成長も日に日に感じ取ることができ、非常に有意義な時間であったと感じます。

子どもたちには、3日間の団体生活でお互いに助け合い、認め合い、感謝し合う気持ちが芽生え、解散式ではそれが深い感動となり、充実感が見て取れました。3日間という短い期間でしたが、大きな事故やけがもなく、一人ひとりが成長を遂げ、心に強く残る自然体験学習の旅となりました。